

# 松リハだより

松山リハビリテーション病院

2024  
32号

発行日  
令和6年11月

発行者：医療法人財団 慈強会 松山リハビリテーション病院 TEL089-975-7431 FAX089-975-1670 <http://www.jikyokai.or.jp>

## 令和6年度の取り組み

歯科の専門職  
として頑張っ  
ています。



お口の中の環境  
を整えることは大  
切です。

### 私達、歯科衛生士です



今年度より、回復期等の患者に対する口腔機能管理の推進が求められています。当院では、2名の歯科衛生士が看護部に配属されて、チームの一員に加わりました。現在、病棟で口腔ケアを行い活躍してくれています。嚥下困難患者・高齢者が多い当院にとって、歯科医療従事者の役割はとて重要となります。

#### 業務内容

- ① 歯科予防処置（食後口腔ケア・個別ケア・入院時の聞き取りと評価等）
- ② 歯科保健指導（入院中・退院時指導必要患者、スタッフ指導、口腔に関する相談対応）
- ③ 口腔機能訓練（今後実施予定）
- ④ 摂食に関する事項（食事時の様子観察（噛み合わせ義歯の具合、口腔の状況等）
- ⑤ 歯科往診時の連携（送迎、申し送り、相談等）
- ⑥ 環境整備（歯ブラシ等の確認含）

病床のある医療機関で働くのは初めてのため、相談を重ね業務内容を決めました。カルテ記載、評価記録もしています。



歯科往診時の申し送り

【口腔ケアシート】

歯科衛生士向けケアシート

患者氏名	病室	担当	実施日時	実施内容	評価
山田 太郎	101	佐藤 花子	11/10 14:00	食後口腔ケア、個別ケア	良好
田中 花子	102	佐藤 花子	11/10 15:00	食後口腔ケア、個別ケア	良好
鈴木 一郎	103	佐藤 花子	11/10 16:00	食後口腔ケア、個別ケア	良好

※1回/週  
2人でカンファレンスも  
しています。



嚥下に問題がある患者さんへの対応は看護師・STが介入できますが、他の患者さんの口腔機能まではなかなか厳しい状況です。その中、歯科衛生士さんの存在は大きな力となります。スタッフへの指導もとっても有難い♪ 今後、リハ部・栄養科とも連携をとり、摂食嚥下チームの一員としての活躍を期待しています。



R6年9月17・18日  
『リハビリテーション病院  
3rdG:Ver.3.0』  
3回目の更新です

# 日本医療機能評価機構 病院機能評価

診療部は、患者の視点に立った患者への説明と同意、患者との情報共有、診療の質の向上に向けた活動や医師の病棟業務などの項目について担当しました。病院機能評価の準備を行うことで当院での現状及び課題となる点を確認することができ、他部署の協力も得ながら課題への対策を行いました。受診当日の面接調査や部署訪問ではサーベイヤーより当院の評価や課題について貴重なご意見をいただき、大変参考となりました。診療やリハビリに関する部分では、診療部だけでなく、他部署と一緒にチームとして取り組むことをさらに考えていく必要があると認識させられました。病院機能評価の結果を踏まえて病院全体の質向上に向けて継続して取り組んでいきたいと思います。

診療部長 梶原 隆

6年ぶりの機能評価受審が決まり解説集を見たとき、解説集の分厚さ、文字の多さに受診日までにすべての確認なんて無理かも…と青ざめていました。他のスタッフにも協力してもらい、できていること、がんばっていること、改善したほうが良い点など1つずつ確認することができました。当日は正しく答えなくてはという緊張感で頭の中が大混乱していましたが、サーベイヤーの方がゆっくり丁寧に聞き出してくれたためなんとか返答することができました。終わってみると達成感でいっぱいですが、日々インシデントやアクシデントが無いように対策に集中しすぎている点、逆に曖昧になっている点を院外のサーベイヤーに見てもらうことで気が付く事がたくさんありました。他の病院の情報も聞くことができ一歩引いて自分たちの行動を振り返る機会となり、外部評価の大切さを実感しています。

受審から1ヶ月が経ちますが、サーベイヤーの方々から伝えてくれた事がだんだんと実感に変わってきています。よりよいケアにつなげられるよう改善に向けて努力していきます。

医療機能管理部 主任 寺尾 直子





# 更新ダブル受審を終えて…

R6年9月26日  
『高度・専門機能  
リハビリテーション  
(回復期) Ver.1.0』  
2回目の更新です

今回の更新受審は、本体の『病院機能評価』に加え、『高度・専門機能 リハビリテーション(回復期)』の同時受審でもありました。一年前から病院機能評価対策委員会を立ち上げ、病院内の各部門が協力し、各種の要綱や規定、マニュアル等を念入りに確認・整備し、必要に応じて改善に向けた取り組みを行いました。大変な作業ではありましたが、評価項目を一つ一つ確認することは、当院の状況を見つめ直し、改善への道を考える機会となったと感じています。訪問審査当日は、サーベイヤー(評価調査者)による面接調査や部署訪問等により、記録・仕組み・運用・チーム医療の対応・環境面など細かく確認されました。審査後の講評では、大きな指摘事項はありませんでしたが、サーベイヤーからの「もっとアピールしてください」の評価が印象に残りました。私は病院機能評価対策委員として初めて参加し、評価項目についてどういうふうに説明しようかと考える程度でした(反省です)。当院の強みはたくさんあります。次回(5年後)は、自分たちがやっていることを自信持ってアピールできるようにしたいと思います。病院機能評価の受審目的は『より良い病院づくりを進めるため』です。正式な審査結果はまだ届いていませんが、指摘があった課題に対しては真摯に取り組み、リハビリテーション病院として、さらに質の向上に取り組みたいです。

リハビリテーション部 作業療法科長 菅 隆一

私は9月26日に受審した高度・専門機能(回復期)を主に担当させていただきました。事前に提出する自己評価票には、アピールポイントを記載しましたが、指定された文字数に収まらない程、看護部のアピールしたい事項があり、要約するのに苦労しました。

訪問調査はとても緊張しましたが、講評では介護福祉士の積極性や、看護部の頑張りを評価して頂くことができました。結果はまだ出ていませんが、みんなの普段からの頑張りが認められ、とても嬉しく思いました。今回、受審前に他部署と事前打ち合わせをする際、新たに知ることや、学んだことが沢山ありました。改めてコミュニケーションや連携の必要性を感じました。機能評価を受審したことで、見えてきた課題もたくさんあります。

それぞれの部署で共有し、更に当院の医療・看護・介護の質が向上できればと感じています。

看護師長 三浦 未来





10月7日(月)

今年も松リハに  
獅子舞と  
お神輿が  
やってきました。



当日はあいにくの雨でしたが、たくさんの方に見ていただくことができました♪

## 音声治療手技の起声に関する研究 - 光電声門図 (PGG) を用いた検討 -

この度、日本音声言語医学会の音声部門で優秀論文賞を受賞し、令和6年10月17日、東京学術総合センターで授賞式と記念講演がありました。このような栄えある賞をいただきまして大変光栄に思います。この論文は、当院に勤務しながら大学院に在籍し、修士論文を学会に投稿したものです。まず、大学院への進学を承諾していただきましたことに感謝致します。また、この研究に際してご協力いただきました同僚や被検者の方々、ご指導いただきました当院の嚥下・音声外来耳鼻咽喉科医の田口亜紀先生や諸先生方にお礼を申し上げます。音声医学分野では日本で最も大きい学会において、大変高い評価をいただいたことは光栄に思いますし、さらに臨床への探求心を高めるきっかけとなりました。この経験をもとに、今後も、音声言語医学の発展に貢献できるよう、さらに研究を深めていきたいと考えております。

リハビリテーション部 言語聴覚士 兵頭直樹



医療法人財団 慈強会

松山リハビリテーション病院

(財)日本医療機能評価機構認定病院

〒791-1111 松山市高井町1211番地

TEL.089-975-7431 FAX.089-975-1670

ホームページアドレス <http://www.jikyokai.or.jp>

許可病床 326床・6病棟

(回復期病棟156床・一般病棟116床・地域包括ケア病棟54床)

日本リハビリテーション医学会研修施設

●交通のご案内 伊予鉄久米駅より伊予鉄ループバス約15分 タクシー約7分

●関連施設紹介

介護老人保健施設 高井の里

TEL.089-975-7761 FAX.089-976-5779

東松山在宅ケアセンター

東松山訪問看護ステーション TEL.089-975-7425

東松山居宅介護支援事業所 TEL.089-975-6158

東松山訪問介護事業所 TEL.089-970-1238

社会福祉法人 慈光会 介護老人福祉施設 ていれぎ荘

TEL.089-975-5558 FAX.089-975-9300

味酒野 ていれぎ荘

TEL.089-989-5571 FAX.089-989-5572

(松山市委託事業) 松山市地域包括支援センター 小野・久米

TEL.089-970-3761 FAX.089-975-7620

編集責任者 事務長 武井淳二